

同 上富士支部
同 車庫支部

除名各個人名

電車部 新宿支部

同 大塚支部

同 三輪支部

同 錦糸堀支部

八月二十一日

日本交通総聯盟

東京市電従業員自治會本部

除名の理由

近時我自治會内部に於て左右両翼の分派を生じその紛争を醸しつゝあつたこと甚だ屢々新身欲上に報道された如くである。その後この紛争は益々深刻化し、実に憂すべき事態を生じ来たため、我等中央委員会は一方には自治會並下交通総聯盟の光輝ある前途を慮り他方には我回労働運動の健全なる発達を冀ふた結果、遂に意見を決し對峙として左翼派たる共産分子を除名するに

到つたものである。

政治行動に關する意見の相違

左右両翼の意見の相違は今日に至るまで多くの場合に現れたのであるが、且取直に於ける此の最も顕著なる現れは政治行動に關する問題である。労働組合が政治行動を共行せしむるに依りしは、其の目的は、労働組合の諸君は組合の現状を顧みずして、猶突的に政治行動を高唱して来た。例へば昨年十二月第一次無産階級組織の際、我等は結党延期の熟議を提出したるに拘らず、共産派の島上喜三郎等の如きは、勝手に我等と反対の意志を表明し、自治會の統制を放棄する行動を取つた。更に去る七月二十一日第三回中央委員会に於て労働農民黨と我等とが結党の期は、既に決定された時、我等は自治會の内容と四圍の形勢とを審みて、先づ自治會自身に單獨支部を組織し、之を獨立して後漸次に他の無産階級との合同支部を組織するとの妥當なるを主張したるに對し、共産派の諸君は直下一般的なる合同支部を組織すべきことを高調した。労働組合同盟の如きは、労働農民黨支部を組織するにつき、其の四圍を排除するに決意してあるが、未だ内部陣